

花に触れ癒やされる

製鉄記念室蘭病院でセラピー体験



室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院の回復期リハビリテーション病棟に入院する患者8人が27日、フラワーセラピーを楽しんだ。花に触れ癒やされながら、リラックスした表情を浮かべた。

室蘭年金受給者協会(片岡一則会長)の女性部(山本孝子部長)7人が同病棟を訪問し、フラワーセラピストの山本部長を中心に、患者たちをサポートした。

一人ずつ自己紹介した後、色とりどりのフェルトを素材にした女の子の壁掛け人形の手に、花束を付けた。花はライスフラワーやミニカスミソウ、グニーユーカーリ、ラスカスなど多彩。患者たちは花束を思い思いに作り、完成した後は互いに見せ合って「かわいい」「楽しかった」「部屋に飾りたい」と笑顔を浮かべた。

(成田真梨子)

フラワーセラピーを楽しむ入院患者とサポートする室蘭年金受給者協会の会員ら